

甲寅春  
新刊

万亭應賀作

外題

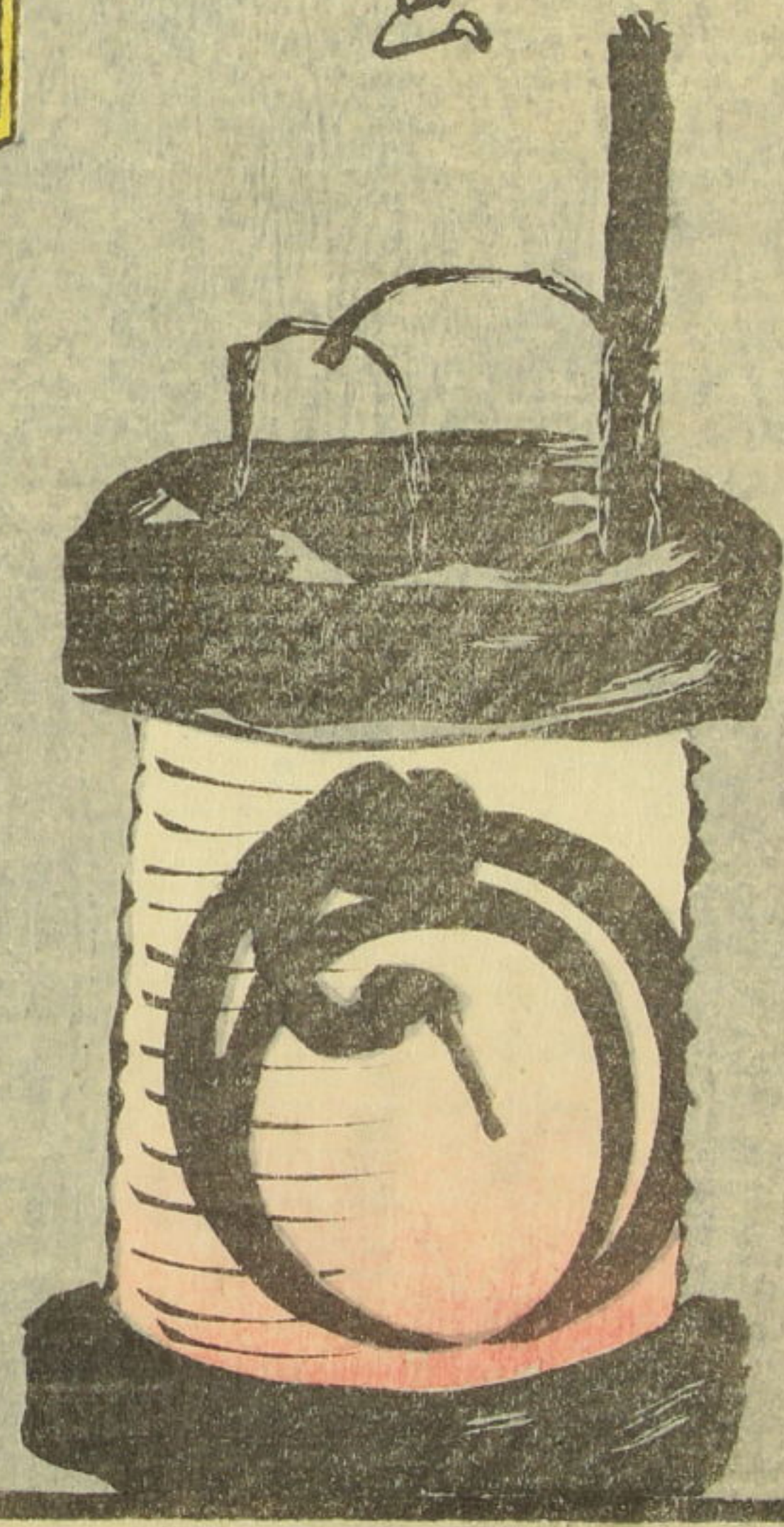
53  
~ 13  
3785  
53



門 八 13  
號 3785  
卷 53

應賀作

因貞画



大和み屋

大和み屋

糸

糸

釋迦八相倭文庫二拾七編序

夫悉達太子出山の朝風破衲を飄積雪敗鞞と埋然燈の  
記と受と獨歩と釈迦と號を初七思帷一畢て雅音頻伽小  
比と唯根熟のの為の似て華嚴四阿の先影響音與龍耳  
龍交泰を龍蛇を雜也奈苑小蔽并垢を衣て珍御の舍那を  
見えり奈苑と六是鹿野苑也されば茲小六度  
鹿王の戒を著一又仁王經の須陀摩王と班  
足王の不安語戒を堅立太子と尼狗陀天子小草拳擬て聊佛  
心の法味を時と去る也

嘉永七甲寅年  
孟春吉辰開市



万亭應賀識



一

徳文庫七二



九十九人の國王の五戒を授け阿羅漢果を得よ

九十九人の國王

尼狗院天子

堅立太子  
鹿王  
を度

尼狗院天子

堅立太子



野苑の来鹿

眷属の鹿王

鹿野の群鹿の五

悩煩

阿著耶の國

徳文庫七二



家久  
連る

優留  
加葉

無垢  
錦女



錦女  
無垢  
錦女

摩揭國の  
優待  
加葉

寶錦女

那提加葉

加葉

卷之七

卷之七





千五百城... 八の八... 千五百城の... 八の八の千の悪業の



相... の... 上の... 千五百城の... 八の八の千の悪業の

千五百城... 八の八... 千五百城の... 八の八の千の悪業の



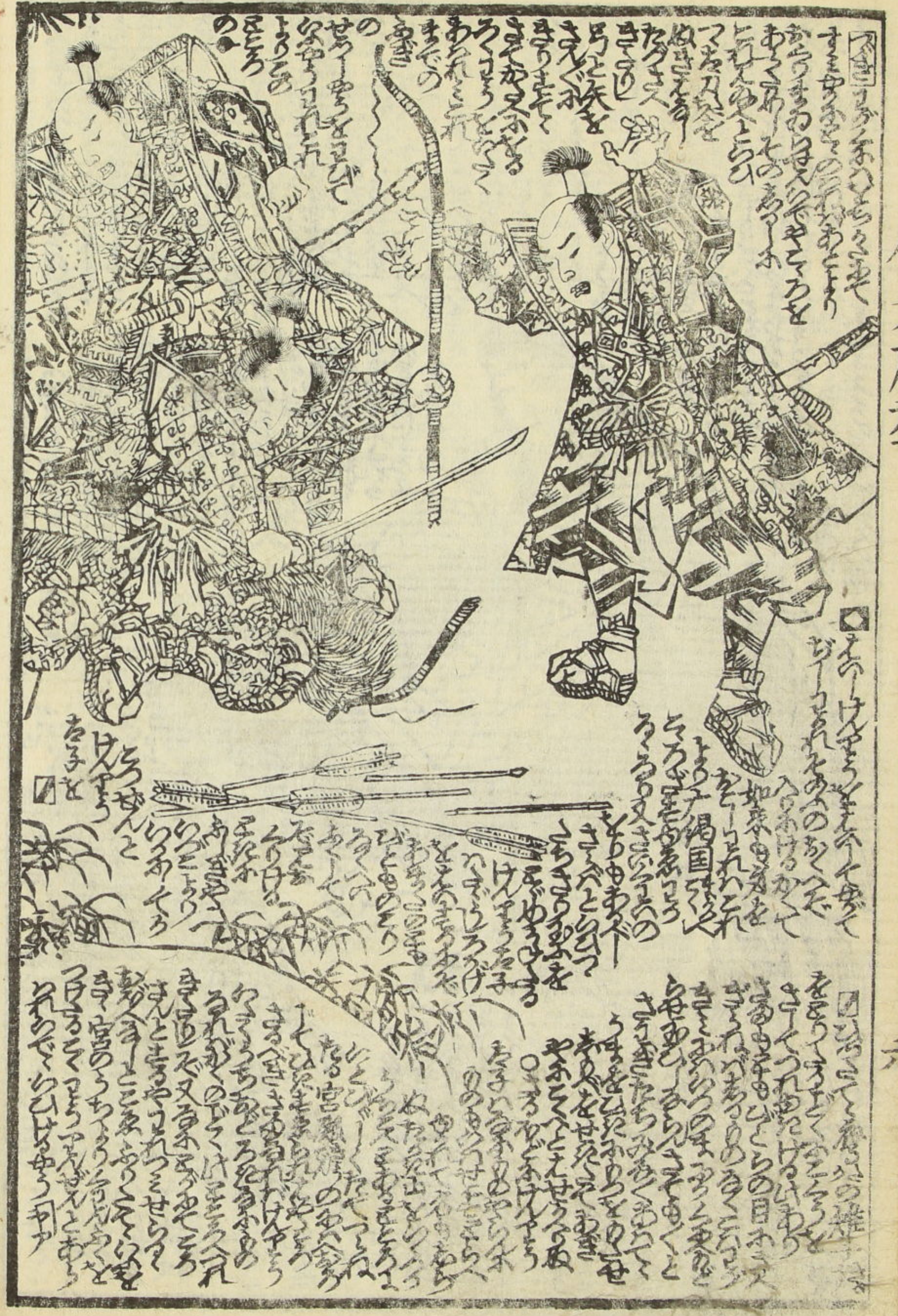
相... の... 上の... 千五百城の... 八の八の千の悪業の



まじりあひうらむるうらむる  
あふひのあひうらむるうらむる  
あふひのあひうらむるうらむる

これをたれうらむるうらむる  
これをたれうらむるうらむる  
これをたれうらむるうらむる

1111

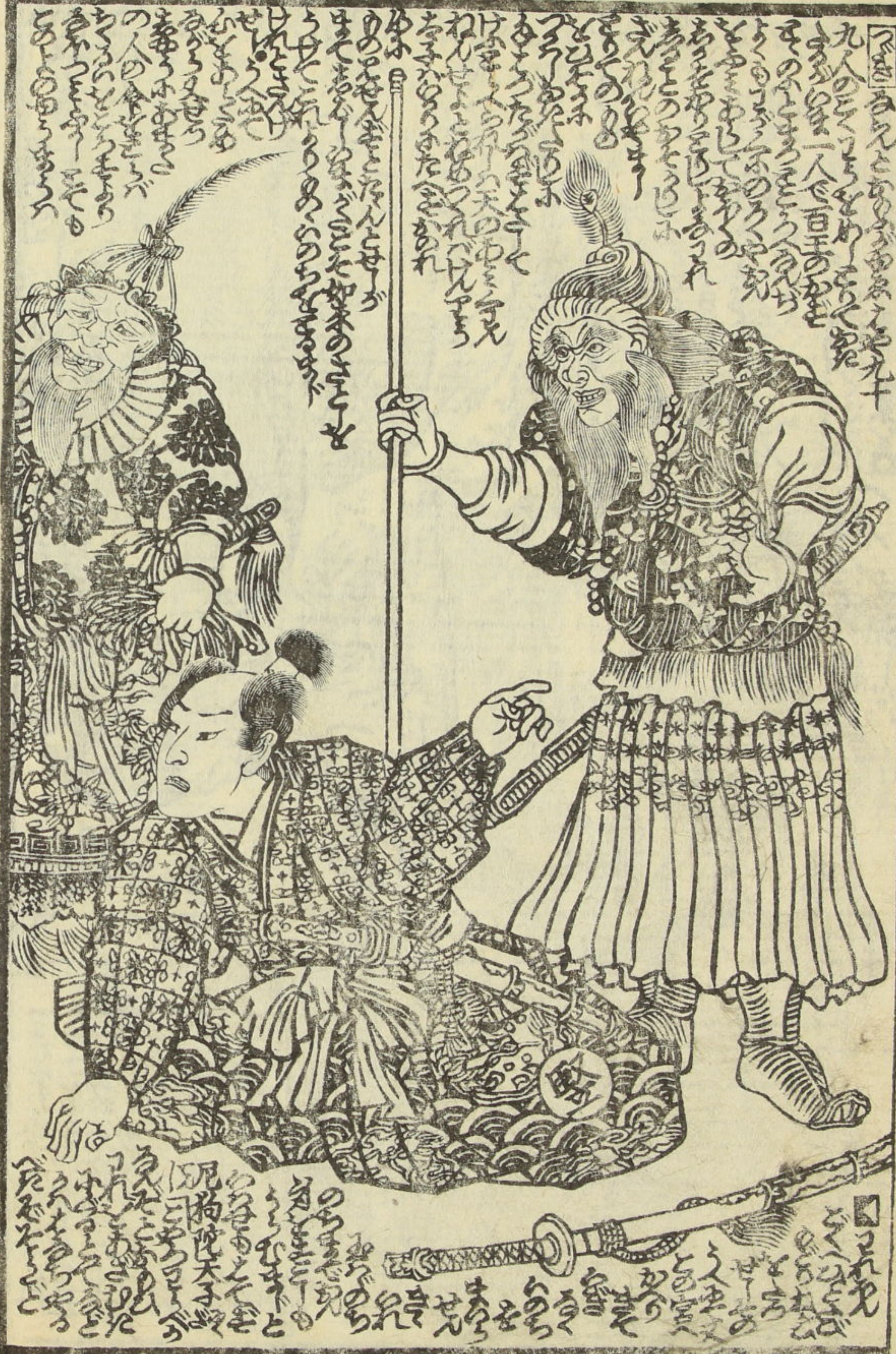


あふひのあひうらむるうらむる  
あふひのあひうらむるうらむる  
あふひのあひうらむるうらむる

あふひのあひうらむるうらむる  
あふひのあひうらむるうらむる  
あふひのあひうらむるうらむる

1111









應賀作國貞画



應賀作國貞

嘉永七甲寅春新本版目録

倭文庫

廿七編 三十編迄  
尚年出板仕

万亭應賀作  
一陽齋豊國画

赤松

譚 九編  
十編

如淵外史作  
一圓齋國磨画

重井菱染別小紋

三編  
四編

為永春水作  
一陽齋豊國画

茶番案文

万亭應賀作  
一陽齋豊國画

大寶御江戸圖

奉書  
六枚半續

極上彩色摺  
明細上改

重縁さし本類

人形町  
版元上

洲屋重藏

